

いいかも

和知小学校

在宅取組型家庭教育学級を中心に展開

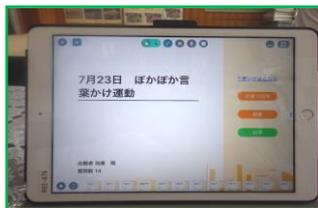
今年度和知小学校では、コロナ禍をふまえて、在宅取組型家庭教育学級を中心に計画されました。5月の家庭教育学級リーダー研修会に参加された役員さんが御嵩小学校の実践発表を聞いて、新たに在宅取組型家庭教育学級として夏休みに「親子チャレンジ」に取り組もうと、7月のPTA本部役員会に諮り、本年度、初めて挑戦されました。

回	月日	学習課題	学習内容	学習方法	場所	参加人数
1	4/29~ 5/6	「ぼかぼか言葉かけ」運動①	•家族に対してどんなぼかぼか言葉をかけているのか見直す。	•GWの9日間、どんな言葉が言えたか表に記載する。	自宅	108名
2	6/20 6/27	「ノーマディアトリアル」週間①	ノーマディアによって得られた時間を家族で共有し絆を深める。	•家族でノーマディアの約束をつくり実践する。	自宅	108名
3	7/21~ 7/31	「ぼかぼか言葉かけ」運動②	•家族に対してどんなぼかぼか言葉をかけているのか見直す。	•夏休みの10日間、どんな言葉が言えたか表に記載する。	自宅	108名
新規	7/21~ 8/29	親子チャレンジ	親子で一緒に活動し、ふれあいのできたことを交流する。	•親子で取り組めたことを絵や写真で表し、作品展と一緒に掲示する。	自宅	108名
4	11/16 11/23	「ノーマディアトリアル」週間②	ノーマディアによって得られた時間を家族で共有し絆を深める。	•家族でノーマディアの約束をつくり実践する。	自宅	108名
5	2/16~ 2/23	「ノーマディアトリアル」週間③	ノーマディアによって得られた時間を家族で共有し絆を深める。	•家族でノーマディアの約束をつくり実践する。	自宅	108名

ぼかぼか言葉かけ運動

- ① 誰もが参加できる取り組み内容を、2回実施
- ② 共通項目を作って取り組みやすい工夫（表の活用）
1から6つ目は共通のぼかぼか言葉を提示し、7つ目は各家庭で決めたぼかぼか言葉を取り組めるよう工夫しました。（児童用、保護者用）
- ③ ICTの活用

ぼかぼか言葉を取り組んだその日のうちに、各家庭で親子一緒にタブレット端末に毎日入力しました。



タブレット端末にはすぐに計結果がみられるようになっており、親子で振り返りをしました。ICT活用ですぐに情報共有できました。

<タブレット端末入力画面>

ぼかぼか言葉かけ運動 児童用

家庭に次の声かけができれば○をつけましょう！ ①は家族と話し合って決めましょう。	5/1	5/2	5/3
	土	日	月
①「おはよう」「おやすみ」			
②「いってらっしゃい」「おかえり」			
③「いただきます」「ごちそうさまでした」			
④「ありがとう」			
⑤「今日は～なことがあったよ。」			
⑥「はい」（返事）			
⑦			

<次の声かけができれば○を付けましょう>

- ①おはよう、おやすみ
- ②いってらっしゃい、おかえり
- ③いただきます、ごちそうさまでした
- ④ありがとう
- ⑤今日は～なことがあったよ
- ⑥はい（返事）
- ⑦自由に決める

保護者用も
あります。

親子チャレンジ

① 親子が一緒にやることで、コミュニケーションの向上を!

親子で同じことを体験し、コミュニケーションを増やすことを目指し、『PTA 夏休み親子チャレンジ』が加わりました。ほんのわずかな時間であっても親子で行動を共にし、その時の感情を共有することで、子どもの豊かな育ちにつなげようと意図されました。

② 親子でやることで、夏休みにぴったり

親子ツーリング、親子料理、家族みんなでバスケットボール、バレーボール、バドミントン、親子でアイスクリーム作り、親子でわらび餅づくり・・・夏休みならではの取組がたくさん報告されていました。

③ さらに学校だよりを発信し、家庭教育の大切さを価値づけ

校長先生の熱い思いが、学校だよりに書かれていました。「親子で行動を共にすることで、子ども達の豊かな感性はたくさんのことを学び、自分が大切にされていることを実感します。」と話してみえました。➔



八百津町立和知小学校 学校通信 No.49 令和3年10月1日

パッテロー通信

「学校の教育目標」心豊かで たくましい実践力をもつ子

八百津町和知 1227 電話 0574-43-0510

「情の共有」で子供を育て、守る 校長 中村 牧史

今年の夏休みは、PTA 本部役員さんの提案で、「PTA 夏休み親子チャレンジ」を行いました。報告書からは、各家庭の温かさ・真剣さ・楽しさが伝わってきました。ご家族に本校いただき、報告書を見ていただけないのが本当に残念です。この取組からも、温かい家庭・家族によって温かい子供達が育まれていると改めて感じました。熱心に取り組んでいただき、本当にありがとうございます。感動のあまり、いつもより長い「パッテロー通信」になったことをお許しください。

＜PTA 夏休み親子チャレンジの取組内容＞

百人一首 スケートボード ランニング バドミントン 山登り 掃除 お弁当作り 野菜の収穫から料理 自転車で遠出 流しそうめん(竹切りから) 釣をして魚を食べる 風鈴作り いちご作り 机作り トランプ カヤック 野球 バレー 家でキャンプ UNO 川遊び ビンゴ会 お庭プール マレットゴルフ(ゴルフ) 花火 ラジオ体操 人生ゲーム ボードゲーム ぬい物 うちわ作り シルバニアの家作り カードゲーム テレビゲーム バドミントン 首輪作り うなぎ小籠作り リフティング 大きなバスケット 花植え さかあがり オリンピック観戦 はんこ作り 風呂掃除 玄関掃除 食器洗い 乾取り 料理(冷やしラーメン、ギョウザ、炒め物、揚げ物、たこ焼き、カレー、サラダ、バーディーメニュー、目玉焼き、トマスープ、フライドポテト、コロッケ、ハンバーグ、パスタ、ナポリタン、うなぎを焼く、ぶたしぶそめん、握り寿司、クッキー、チョコパイ、白玉だんごアイス、シフォンケーキ、チーズケーキ、マンゴクリン、ブルーベリージャム、クレープ、ナン、わらびもち、もんじゃ)

「夏休み親子チャレンジ」 7月20日(日)～8月2日(日)

ご協力ありがとうございました。「児童」と「保護者」の感想です。

児童の感想	保護者の感想
6年生 2年生 家族みんなでバスケットボールをしました。久しぶりで家族みんなで行って良かったです。	家族そろって運動する機会があまりなかったので、とてもよい機会になりました。子どもたちも喜んでいました。
4年生 初めアイスクリューを作りましたが、少し苦かった。でも、少しは練習して挑戦したいです。とても楽しかった。家族みんなで挑戦して良かったです。	「一緒に料理がしたい」と希望したのでアイスクリュー作りができて良かったです。家族みんなで一緒に挑戦することが出来たのでとても良かったです。子どもたちも楽しんでいました。
4年生 最初はうまくいかなかったけれど、練習してできるようになりました。	二人ともよく楽しんで運動することができました。釣った魚をその場で焼いて食べてもらい食べたときの笑顔が最高でした。
6年生 3年生 お友達と一緒に行きました。	今年の夏休みも子供たちから色々な報告が来ましたが、お友達と一緒に行きました。お友達と一緒に行くと楽しかったです。
6年生 3年生 自分たちで準備しました。	自分たちで準備して行うことができて良かったです。お友達と一緒に行きました。
6年生 3年生 自分たちで準備しました。	自分たちで準備して行うことができて良かったです。お友達と一緒に行きました。

・〇〇町の祖母の家まで自転車で乗っていきました。約△kmの道のりでかなり疲れたようですが、最後まで楽しく弱音をはかずに行けました。暑い中大変でしたが、チャレンジできて娘の成長につながったと思います。

＜夏休み親子チャレンジのまとめ＞

・今年度、初めての「夏休み親子チャレンジ」・チャレンジしたことがわかるように何枚も写真を載せていただいた家庭もありました。「親子で一緒に取り組んで良かった」「夏休みだからゆっくり取り組めた。」などのコメントがいただけ、取組の意図が伝わりよかったです。親子の絆がさらに深まった取組となり成果がありました。

・家庭教育学級年間計画は、前年度の前任者から引き継いだり、年度当初に自ら作成したりします。しかし、本年度スタート後に変更するなど様々な実態があると思います。年度の峠に差し掛かったターニングポイントの今、計画に修正を加えて柔軟に対応していくことも必要です。和知小ではコロナ禍の様相を踏まえ、在宅取組型を年間5回計画してみえましたが、新たに親子の絆を深めるねらいで夏休みに新たに挑戦されました。「この取組は春の地区リーダー研修会で御嵩小の実践発表やグループアウトセッションで学び、自分たちもやってみてみたいから始まった。」とお聞きしました。

コロナ禍のお母さんを応援する

子育てに優しい町 富加町

富加町子育て支援センターでは、“お母さんが元気なら、子どもも元気”というキャッチフレーズのもと活動しています。子育ての不安を緩和して子どもたちの健やかな育ちを支援することを目的に、コロナ禍にあっても何とか支援を届けようと多方面からあらゆる方法でチャレンジしてみえます。（下記①～⑥は取組例）

- ① 親子教室参加者（家庭教育学級参加者）がメール登録。メール登録した全ての家庭に通信の「おうちで子育て応援号」を送付



自己肯定感に関する明橋大二さんのお話「子育てハッピーアドバイス」の内容をスケッチブックに編集して、オンライン発信してみえます。

- ② 町主催の乳幼児健診に、子育て支援センター職員が同席し、子育ての悩み相談

- ③ 保健師が赤ちゃん訪問の折に、支援センター職員も各種案内を持って同行することがある。

- ④ メール登録された保護者全員とおしゃべりタイムをリモート開催し、画面を通して親も子ども顔の見える関係に！



パソコンの画面上で、「おしゃべりタイム」を設定しています。「家族だけでなく、家族以外のよその人ともおしゃべりしたい。」「パソコン画面上ではあるが、大人と会話できて嬉しかったわ。」と満足感に満ちた感想を話していかれる方もいらっしゃったようです。

- ⑤ 産後うつ解消のため、産後トータルケア教室を定期的に開催

- ⑥ ブックスタート・プラスで絵本の読み聞かせを指導

2歳の誕生相談で、支援センター職員が一組ずつの親子に読み聞かせを実施。読み聞かせのポイントやコツを伝授することで読み聞かせの楽しさを保護者に理解してもらいました。

親子教室に位置づいた家庭教育学級年間計画

富加町乳幼児子育て支援センター

大きいひよこ教室

テーマ『多くの仲間とともに活動的に学習し、ふれあいを深める』
学習のテーマ【子どもの自己肯定感を育てよう】
乳幼児期から児童期に至るまでの子どもにとって、家庭教育が最も大切な場です。富加町では子育て支援センターで行う親子教室の中に、年に数回家庭教育学級を組み込む形をとって家庭教育について、学習する機会をつくっています。

今年度の学習は下記のとおり計画しました。

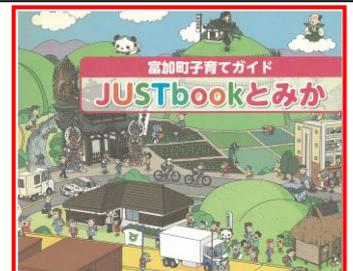
～お楽しみ～

日	日 時	内 容・お ね がい	講 師	場 所	担 当 員
1	4/14 (水) 9:40～11:40	開級式・サロン 「年間計画を立てよう」 分級授業			子育て支援センター
2	6/23 (水) 10:00～11:30	子ども園訪問 子ども園の様子を動画で上映します 家庭教育「体験」による子育て	子ども園主任 藤井 裕子氏 子育て支援センター 教育担当 宮崎 由紀子氏		1G
3	未 定	「絵本ライブ」		サンホール こみの大ホール	
4	10/6 (水) 10:00～11:30	運動会（たぎ・ひよこ合同） 「親子で楽しく参加しよう」	指導員	日とG 富加センター	—
5	12/15 (水) 10:00～11:30	クリスマス会 「手作りクリスマス」	指導員	子育て支援センター	2・3G
6	3/16 (水) 10:00～11:30	開級式・サロン 「一年を振り返ろう」			子育て支援センター

支援センターの職員は、気楽に「これる人がこれる時に来てくださいよ。」というスタンスで待ってみえます。



- コロナ禍にあってもICTなどを駆使して、どの親さんにも「少しでも情報をお届けしたい。」という願いをもって、スタッフが様々な取組をしてみえます。
- そして、子どもの育ちが、1町、1公立こども園、1小学校、1中学校という縦の流れの中に、発達段階に応じた子ども支援が継続的に位置づけられています。
- 乳幼児連絡会を隔月で1回開催し、こども園、保健師、教育課の担当者などで子育て情報の交流がなされ、富加町の子どもたちを町全体で育てる横の見届け体制も整備されています。



この1冊に子育てに関する情報のすべてが集約されています

